

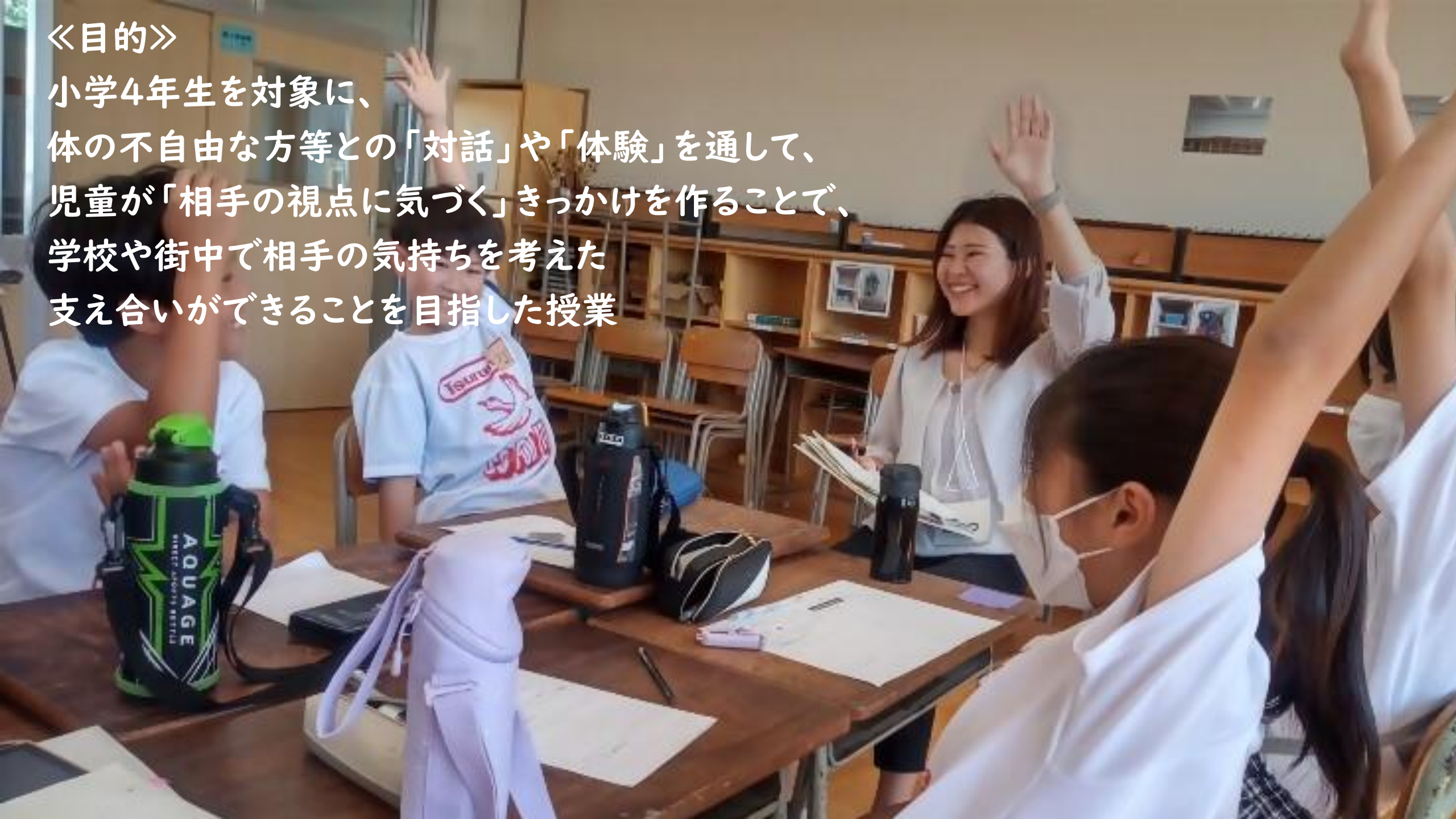
茅ヶ崎市 心のバリアフリー教室  
～対話・体験から支え合いの気持ちを醸成～

令和6年6月20日(木)  
茅ヶ崎市 都市部都市政策課



## 《目的》

小学4年生を対象に、  
体の不自由な方等との「対話」や「体験」を通して、  
児童が「相手の視点に気づく」きっかけを作ることで、  
学校や街中で相手の気持ちを考えた  
支え合いができることを目指した授業



## 《背景》

- 平成27年9月 茅ヶ崎市バリアフリー基本構想策定
- 平成28年10月 基本構想の推進のため、協議会・市民部会を設置  
→市民部会「心のバリアフリーの普及啓発」のため、“市民発意”、“市民協働”による活動
- 令和元年9月 鶴嶺小学校から市に相談  
→4年生の総合的な学習において「鶴嶺地区の人々を元気に」をテーマに、  
「保育園児や高齢者、障がい者との交流を通し、ふれあう、気づく、考える」といった視点で学びを深めたい
- 令和元年11月 鶴嶺小学校で初めて実施



## 《実績》

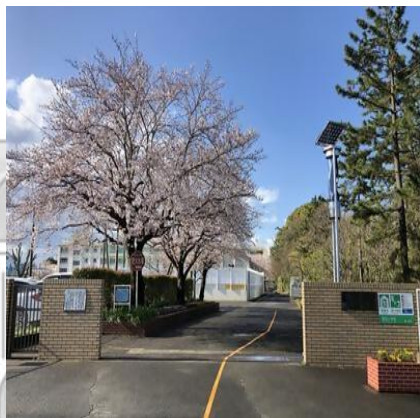
- 令和元年度 鶴嶺小学校 4年生（一部のクラス）
- 令和2年度 // （一部のクラス） ※コロナ禍により交流は中止
- 令和3年度 // （一部のクラス）
- 令和4年度 // （すべてのクラス）
- 令和5年度 以下の5校で実施



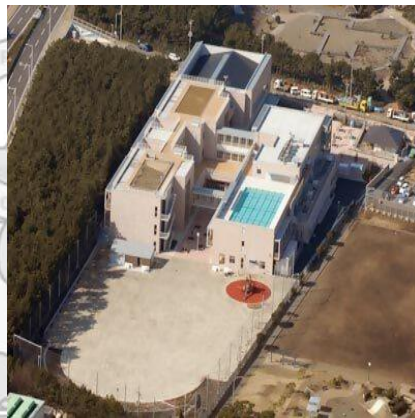
鶴嶺小学校



松浪小学校



室田小学校



汐見台小学校



松林小学校

# 《特徴Ⅰ》 少人数の対話



《特徴2》  
他者理解の促し



# 《特徴3》 全4回の段階的学習



4つのステップ

知る → 気づく → 分かる  
できる → 深める





# 知る (90分)

茅ヶ崎市には様々な人がいて、人それぞれ困ってしまう場面が違うことを知る

## ①市職員による説明(講義)

- ・茅ヶ崎市には様々な人が住んでいる
- ・困ってしまう場面も人それぞれ
- ・困っている人がいたらどうする?  
(ケーススタディ)



## ②歩行体験(体験)

- ・目をつむり目的地まで歩く
- ・1回目は1人で歩く
- ・2回目は2人一組で歩く
- ・困っている時に声をかけてもらえると安心する



## ③グループワーク(実習)

- ・困り事がありそうなA~Cさんと一緒にお家から公園まで行く場合、道中にどんな困り事があるかを考える
- ・その困り事を解消するための声掛けやお手伝いの方法を考える
- ・個人ワーク、班内発表、全体発表



# 気づく (45分) ※班別行動

自分と違った視点に気づき、人によって困り事やサポートが違うことを体感する

## ①障がい者からの話(対話)

- ・自分の障がい
- ・毎日の生活、まちに出かけて楽しいこと、困ってしまうこと
- ・適宜、児童からの質問
- ・2回目の交流に向けた準備



## ②教室外での活動(体験)

- ・学校の中でも、自分と違った視点、人によって困り事が違うことを体感(階段、昇降口、トイレ等)



## ③公共交通の利用(体験)

- ※鶴嶺小のみ
- ・屋外(学校敷地内)にバスを配置し、児童と障がい者が一緒に乗車
- ・乗降や乗車中等の困り事を知り、その人に合ったサポート方法を体験を通して学ぶ



# 分かる・できる (45分) ※班別行動

相手の気持ちを考えた行動を行うことができる

## ①障がい者を交えたゲーム遊び(体験)

- ・障がい特性を理解した上で児童が考えた遊びやゲームを一緒に楽しむ
- ・実施の前に工夫した点等を発表



## ②ゲーム遊びの振り返り(対話)

- ・実施してうまくいった点、うまく行かなかった点を話し合い
- ・全体の振り返り



# 深める (45分/クラス)

## 多様な他者とのコミュニケーション力を養う

### ①市職員と茅ヶ崎いんくる隊による説明 (講義)

- ・自閉症や知的障がい等外見からわかりづらい障がいについて、共通する点をテーマとして設定
- ・テーマごとに学校での場面に置き換えて自分事として説明

### ②市職員と茅ヶ崎いんくる隊による説明 (体験)

- ・テーマごとに体験を通して自分事化
- ・体験を通して、学校で困っている友達がいた時にできること、声のかけ方を考える



特別編

# 児童の成果

## 学校毎にまとめを実施



**車椅子新聞** 鶴岡小学校 4年4組51号 (石澤のA)

早川・鈴木・川口・齋藤・西澤・岡田

**車椅子の人の不便**

車椅子の人は、歩けないので、歩道に上ることができません。また、エレベーターやバスにも乗ることができません。また、車椅子の人は、歩道に上ることができません。また、エレベーターやバスにも乗ることができません。

**車椅子の人が住みやすい茶ヶ崎市**

茶ヶ崎市は、車椅子の人が住みやすい市です。また、エレベーターやバスにも乗ることができません。また、車椅子の人は、歩道に上ることができません。また、エレベーターやバスにも乗ることができません。

**学んだこと**

(車椅子の人のこと)

車椅子の人は、歩けないので、歩道に上ることができません。また、エレベーターやバスにも乗ることができません。また、車椅子の人は、歩道に上ることができません。また、エレベーターやバスにも乗ることができません。



# 《課題と今後の展開》

開催を希望する学校に授業ができていない

➡運営体制（人員・プログラム）の見直し

## 《令和5年度 心のバリアフリー推進のためのモデル検討調査》

成果物①

心のバリアフリー教室開催の  
手引き書

成果物②

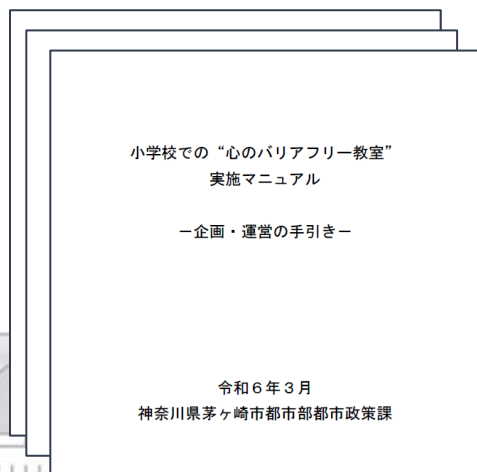
教室紹介動画の作成

成果物③

教育動画「ステップ1 知る」の作成

成果物④

概要版（わかりやすい版）  
イラスト等作成



※茅ヶ崎市HPで公開中

心のバリアフリー教室を通じて、  
障がい理解や障がいの体験に留まらず・・

《特徴1》  
少人数の対話

《特徴2》  
他者理解の促し

《特徴3》  
全4回の段階的学習

相手とのコミュニケーションによって  
お互いの理解を深め、支え合う気持ちを醸成



学校全体、ひいては市内全体が、  
誰もが安心して過ごせるまちになることを目指します

ご清聴ありがとうございました